

戸塚共立第2病院 ソーシャルメディアポリシー

目的

ソーシャルメディアは、個人の表現、生活や仕事のための情報収集、そして、コミュニティ形成に非常に有効である反面、発言が思わぬトラブルを引き起こし、大きな問題に発展してしまうことがあります。あくまで個人の発言であっても、当院や他の医療機関、または医療そのものに関する内容によって問題が生じた場合、多くの関係機関への信頼の低下を招く恐れすらあります。このような背景のもと、当院では、全職員にソーシャルメディア運用の心構えを周知し、コンプライアンスを実現するために、「戸塚共立第2病院 ソーシャルメディアポリシー」を策定いたしました。

基本原則

- ソーシャルメディアを利用する際は、就業規則、個人情報保護方針等を遵守すること。
- 職務上知り得た情報や機密情報、または個人情報を発信しないこと。特に患者、職員、関係者に関する情報は、許可がない限り発信を禁止する。
- 発信内容は正確かつ信頼性のあるものであることを保証し、誤解を招く恐れのある表現を避けること。
- 発信内容が自身や所属組織、第三者の評判に影響を与える可能性を理解し、慎重に行動すること。
- 基本的人権、肖像権、プライバシー権、著作権、知的財産権を尊重すること。
- 公序良俗に反する内容や、差別的、誹謗中傷、攻撃的な発言を避けること。
- インターネット上に一度公開された情報は、完全に削除することが難しいことを認識し、責任を持って情報を発信すること。
- 他者を傷つけたり、誤解を生じさせた場合には、速やかに訂正し、誠実に対応すること。
- ソーシャルメディア上で匿名性が完全に保障されるわけではないことを理解し、適切に行動すること。
- 発信した情報に攻撃的な反応や問題が発生した場合には、冷静に対応し、不必要な議論は避けること。
- 違法行為、虚偽情報、差別的発言、公序良俗に反する内容、犯罪を助長する情報などの発信は禁止する。
- 個人的な噂や推測に基づいた情報の拡散を慎むこと。
- 当院を不当に中傷するような情報が拡散している場合には、個人の判断で反論等を行わず、上席者に報告して適切な対応を検討すること。

2025年1月 改訂